



心も新たに 令和

校長 庄山 佳代子

4月の全校朝会で、子どもたちに次のような話をしました。

今日は元号の話をしてします。
みなさん、元号を知っていますか？ ニュースなどでよく聞きますね。今の元号は「平成」ですね。その前は「昭和」、その前は「大正」、その前は「明治」でした。元号はこれまでに、いくつくらいあったと思いますか？

「約150」「約200」「約250」
正解は、約250です。これまでに、247もあったのです。明治、大正、昭和、平成、次の元号はなんですか？

そうです。「令和」です。令和は248番目の元号です。

「令和」について、こんな説明がありました。

「この『令和』には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております。」(平成31年4月1日 内閣総理大臣談話)
美しく心を寄せ合うことは、どのようなことでしょうか。河崎小学校ではよくできています。学年が同じでも違って仲良くできます。けんかをして仲直りができます。話し合いもできますね。お互いの良さを分かることも大事です。

こんな風に、おうちでも、地区の方とも、違う学校の人とも、違う県の人とも、違う国の人とも、心を寄せ合うことができるようになってほしいと願っています。



↑ あいさつ隊
爽やかな 声を響かせよう

時代がまた新しくなります。社会の変化はその速度を速めていくでしょう。しかし、子どもを見守る保護者や地域の方の愛情は、いつの時代も変わることはありません。河崎・両尾の地域や子どもへの愛情を、皆様と共に、子どもにも伝え継承していきたいと考えます。そのためには交流が欠かせません。

今年度もいろいろな学年が地域で学習や活動をさせていただきます。皆様と、顔と顔を合わせ、膝と膝をつき合わせ、語り合い、笑顔で交流させてください。交流は学習ではありません。火曜・木曜の朝、8時45分から55分の10分間、あいさつ隊が活躍しています。晴れた日に、学校前を通ってみませんか？ 交流の第一歩です。